

一般社団法人 漁港漁場新技術研究会 第1回技術報告会

一般社団法人漁港漁場新技術研究会は、関連民間企業が結集して、漁港、漁場及び漁村等の整備に必要な新技術の研究・開発・活用・普及のための活動を行っております。

初めての開催となります技術報告会は、最近の各研究部会の研究の報告を行うとともに、水産公共関連民間技術をご紹介し、水産基盤整備事業等の円滑な実施の一助になりますことを期待して開催するものです。

都道府県、市町村、漁港漁村関係者、民間企業等の皆様のご参加をお待ちしております。

【主催】一般社団法人 漁港漁場新技術研究会

【後援】公益社団法人 全国漁港漁場協会

【日時】平成28年12月16日（金）9:45～12:00（受付開始9:15）

（12月15日（木）開催の漁村総研の調査研究成果発表会の翌日）

【第1部】研究部会研究報告

【第2部】水産公共関連民間技術紹介

【会場】エッサム神田ホール1号館

2階多目的ホール（神田駅すぐ）

【参加費】無料（お申込み順100名）



エッサム神田ホール1号館

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-2-2 TEL:03-3254-8787

参加ご希望の方は、当研究会ホームページからお申し込み頂くか、下記の担当者に参加者のご氏名、ご所属、ご連絡先をお知らせ下さい。

一般社団法人 漁港漁場新技術研究会

ホームページ：<http://aitef.or.jp>

担当：青木 TEL 03-5294-6868、FAX 03-5294-6877

E-mail：[aoki\(@\)aitef.or.jp](mailto:aoki(@)aitef.or.jp) ※メール送付時は()を取ってお送り下さい

(プログラムの詳細は裏面です)

第1部 研究部会研究報告

1. 品質・衛生管理のための荷さばき所づくり（衛生管理研究部会）

衛生管理研究部会は、荷さばき所の計画・設計・施工、必要な機械設備・建築材料、ソフト対策等の専門家から構成されており、水産物の種類や取扱量に応じた水産物の品質・衛生管理、セリや物流の効率化を図るためのハード・ソフト対策を概説します。

2. 鋼構造物に関する保全対策の解説と事例（リニューアル研究部会）

漁港施設のうちの鋼構造物の機能保全に効率的に取り組めるよう、鋼材防食工法、鋼材補修工法等について、わかりやすく解説するとともに、多くの事例を紹介します。

3. 人工基質を用いた磯焼け対策（沿岸域環境保全専門部会）

磯焼け対策では安定した基質の設置（ハード技術）と播種や植食動物の除去など（ソフト技術）が必要ですが、植食動物からの防御、浮泥の払拭、海藻の移植、海藻の着生促進といった人工基質を用いた磯焼け対策技術を解説します。

4. リサイクル技術ガイドブック（リサイクル専門部会）

鉄鋼スラグや石炭灰のリサイクル技術を漁場環境改善などの水産基盤整備事業に適用するための基本的留意事項と、リサイクル技術の品質・特徴・用途・設計法及び実績を体系的に整理し解説します。

5. フィッシャリーナ施設劣化診断マニュアル（フィッシャリーナ研究部会）

浮栈橋、係留装置、連絡橋などのフィッシャリーナ施設の劣化状況の診断や修理・更新の検討等の参考となるよう、写真や詳細なフローを用いて解説します。

第2部 水産公共関連民間技術紹介

1. 水産公共関連民間技術確認審査・評価事業の概要

2. 耐震・耐津波補強工法

（1）岸壁・護岸補強アンカー工法

地中に造成するアンカー体と構造物とを引張材で連結し、構造物にプレストレスを与える工法で、耐震・耐津波対策として防波堤や岸壁・護岸等に適用可能な補強工法です。

（2）スプリッツアンカー工法

特殊な削孔ビットを使用し、φ800mmの大口径アンカーを成型することで、大きな周面摩擦抵抗力と口径面の支圧抵抗力が得られることで、弱い地盤や背後に建築物や用地境界等の制約がある箇所でもアンカー工法の適用を可能にします。

3. 耐津波防波堤安定化工法（サブプレオフレーム）

上下方向がオープンなフレーム躯体のブロックを積み重ね、中央の空間に中詰石を充填した構造物で、防波堤の港内外に設置することにより、津波及びその引き波に対し、堤体本体の滑動、及びマウンドの安定性を高め、粘り強い構造を実現する補強工法です。

4. 薄型高強度コンクリート版（ESCON カバープレート）

材料のESCON（Extra-high Strength Concrete）はポリビニルアルコール繊維を用いた超高強度繊維補強コンクリートの一種で、漁港施設がある高腐食環境下でも腐食せず、薄型かつ高耐久性を実現した製品です。